



学校だより

YY-NET 公式サイト <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/jhs/mitakedai/>

第 450 号

横浜市立みたけ台中学校

令和6年 5月29日

学校教育目標：めざします！ いきいきと楽しく 笑顔あふれる学舎（まなびや）を！

大人の役目… 大人として子どもたちの将来のために何をすべきか

校長 羽田 敏隆

※ 5月29日(水)、体育祭は予定通りに無事に開催されるでしょうか(28日現在の天気予報では天候は回復するものの、グランドコンディションが心配です… でも、きっとできる！)。

今年度の体育祭では、徒競走や綱引きなどに加え、いくつかの新たな企画があります。「みんなが楽しんで参加できるような視点」を大切にしたいと実行委員を中心に準備を進めてきました。また、恒例の団体種目の「大縄」では、昼休みにクラスそれぞれが練習に励む姿がありました。当日、どのクラスも「自己ベスト」になるといいな、と応援しています。熱中症に配慮しつつ素晴らしい体育祭になることを期待しています。

さて、突然ですが、大人の役目とは何でしょうか。私は「子どもたちひとりひとりの自立を支える」ことだと思います。社会の一員として、個性や能力を活かして課題を解決し、自ら生きていく力を身につけることはとても大切で、それを支えるのが大人の役目だと考えます。

支え方は、年齢・発達段階や場面ごとの状況などによって違い、そこが難しいところですが、ある一面だけの見方、価値観でのサポートは子どもの伸びる力を妨げてしまう可能性があります。例えば「赤ちゃんにケガをさせない」ための配慮は大切ですが、その観点だけで「赤ちゃんが転ばないように支える」とか「転んだらすぐに抱き起こす」では自分で歩いたり立ち上がったたりする力は身につかないのではないのでしょうか。

社会生活の中では、様々なトラブルがあります。「未然に回避する」「影響を最小限に防ぐ」「元通りの回復を目指す」「再発防止」はどれも大切であり、大人が直接的に行動することが必要な場面・場合もありますが、そのような力を子どもが身につけるためには大人がじっと見守ることも大切です。子どもの成長の場面の妨げになってはいけません。大人のどのような言葉がけや行動が子どもの自立・成長につながるのか、大人としてしっかり考えたいと思います。

パスとキャッチ、「正しく情報を伝える」「正しく情報を得る」ことは、とても大切です。

例えば、熱中症対策。体育祭が目前に迫り、本格的な暑さの時期が近づいているこの時期、今回の「保健だより」には熱中症の予防・対応に関する情報がたくさん載っています。また、3年生に配られている「進路だより」。各学校の説明会・体験入学の日程等の情報だけでなく、進路を決定していくための視点・考え方や心構えなど、生徒の皆さんの将来に関わる内容が満載です。

学校では、生徒・保護者の安心につながる「正しい情報の発信」に努めています。タイムリーに、丁寧にパスを出す心がけますので、しっかりと正しくキャッチしていただけたらありがたいです。

現代の社会状況は、情報があふれ、そして瞬時に伝わります。便利な反面、正しい情報なのかわからず不安になったり、間違った情報で混乱したり、うわさに振り回されたりしがちです。また、間違った情報を発信してしまったり、広めることになったりしてしまう可能性もあります。子どもも大人も賢く、正しい情報のパスとキャッチに努めましょう。

○2学年 自然教室（5月14日～16日） @長野県茅野市

天候にも恵まれ、広大な自然の中で仲間とともにさまざまな経験をしました。1年生のときは“日本における自然環境の今とこれから”をテーマに事前学習をしましたが、そこで得た知識を現地での体験でさらに広げ、考えを深めたり、新たな視点を得たりすることができたように思います。

1日目は山の中のポイントをめぐるオリエンテーリングを行いました。起伏の激しい道も、仲間と励まし合いながら元気に進んでいました。その後は飯盒炊飯。苦戦しつつも、完成したカレーはとても美味しかったです。夜は星空観察で、夜空の星はとても美しく、星座がはっきりと確認でき、生徒たちは感動していました。

2日目は、約半日、農家の方と共に過ごしました。苗を植えたり、収穫をしたり、収穫したものを食べたり、ジャムを作ったりとさまざまな体験をさせていただきました。夜は実行委員で企画・運営したキャンドルファイヤーがありました。火の恵みを感じながら、仲間との絆を深める時間となりました。

3日目は牧場での体験を行いました。乳しぼり体験では、「経済動物」とされる牛のたどる人生も学び、命の尊さ、食への感謝を改めて感じていました。その他にもバターづくりやトラクター乗車など、普段体験することのできない活動を楽しみながら行い、これらの活動においても、食を生み出す苦労や尊さを感じる様子がみられました。

3日間の活動の中で広げた知見をいかし、事後学習では、“自然との共生”について考えていきます。また、初めての宿泊行事の中で身につけた規範意識や仲間への思いやりについては、日ごろの学校生活でも生かし、さらに高めていってほしいと思います。

自然教室実行委員長

1年生の調べ学習から始まり、たくさんの笑顔が溢れた自然教室でした。1日目のオリエンテーリングでは、班の人達と励ましの声かけて協力して行えました。2日目のキャンドルファイヤーは、クラスが違う人達でもレクを通して、交流ができました。この3日間は、忘れられない思い出でした。

自然教室副実行委員長

私たちは自然教室の3日間を通して、たくさんの貴重なお話や体験を経験することができました。特に2日目の農村体験では農業の大変さや工夫を学ぶことができ、とても心に残りました。この3日間で得た知識や経験をこれからの生活や行事にいかしていこうと思います。そして、学年目標であるパレットを達成できるように取り組んでいきたいと思っています。



1日目のオリエンテーリング。晴天の中、自然の中のポイントを探しました。



1日目の夕飯は飯盒炊飯。火力の調整に苦労しましたが、協力してカレーをつくりました。



2日目は班ごとで農家の方にお世話になりました。いろいろなことを体験させてもらいました。



3日目は牧場体験。トラクターの荷台に乗り出荷する野菜の気持ちになりました（結構揺れます）。

○みたけ台中学校ブロック合同 引き取り訓練

5月20日(月)の午後にみたけ台中学校ブロック(鉄小学校・みたけ台小学校・みたけ台中学校)合同の引き取り訓練を行いました。みたけ台中学校では、引き取り訓練の前の昼休みに、大規模地震を想定した避難訓練を行い、初期対応(自分の身の安全を守ること)、2次対応(けが人や倒壊箇所の確認)を実施しました。引き取り訓練では多くの保護者の方や代理の方に来校していただき、充実した訓練を行うことができました。ご協力ありがとうございました。みたけ台中学校ブロックの3校は地域防災拠点になっております。各拠点によって該当地域は異なりますので、この機会にご確認いただき、地域の防災訓練等にも参加していただければと思います。



引き取り訓練の様子。教室の前で確認を行い、一緒に下校をしました。

<拠点>	<該当地域>
みたけ台中学校	みたけ台、上谷本町の一部
鉄小学校	鉄町、大場町の一部
みたけ台小学校	桜台の一部、たちばな台一丁目

※詳しい避難地域は横浜市青葉区のHPの“防災・防犯”を参照ください。

【特別支援教育支援員・ICT支援員】

☆特別支援教育支援員

特別支援教育支援員として、一溝規子さん、辰巳和恵さん、山田明穂さん、永峰稜さんが授業や行事等の協力をしていただいています。

☆ICT支援員

ICT支援員として、5月より杉本恵美さんが着任しました。ICTを活用した授業では、生徒と一緒に活動することもあります。

【校内相談窓口】

☆学校カウンセラー相談

お子様の学校生活やご家庭での悩みや不安などについて、カウンセラーが相談を受けます。

担当：カウンセラー 野川由紀子

相談日：毎週水曜日 9時00分～16時30分

(6月は3日(月)・12日・19日・26日)

お申し込み：みたけ台中学校職員室 045-971-6431

「スクールカウンセラーの面談希望」とお伝えください

カウンセラー直通ダイヤル 045-971-2380

不在や相談中は留守番電話になりますので、お名前とご連絡先を入れてください。

☆スクールソーシャルワーカー相談

学校生活での困りごとを抱えているお子様、保護者の方を福祉の面から支える専門員への相談を受けています。

担当：森岡珠生 *相談を希望される方は、担任又は担当(生徒指導専任：石井翔太)まで